

平成 26 年 9 月 17 日

各 位

会社名 モーニングスター株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 JASDAQ)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 取締役管理部長 小川 和久

「Gomez 地方銀行サイトランキング 2014」の発表について

～横浜銀行が引き続き総合第 1 位に輝く～

中立的な第三者としての立場から E コマースや各種ウェブサイトの客観的な評価・比較を行うモーニングスター株式会社（以下、当社）は、「Gomez 地方銀行サイトランキング 2014」を Gomez のウェブサイト (<http://www.gomez.co.jp/>) で発表しました。

地方でのインターネット利用が広がり、顧客とのコミュニケーションチャネルとして地域金融機関のウェブサイトが持つ重要性は日々増大しています。各種金融商品やサービス、店舗や ATM の案内などが掲載されたウェブサイトは、インターネットバンキングを利用しない窓口利用中心の顧客層にとっても、重要な情報収集媒体としての役割を持ちます。

そこで当社は、地域金融の中核を担う地方銀行・第二地方銀行のウェブサイト、とりわけ顧客とのコミュニケーションの起点となるプロモーションサイト（ログイン前の一般ユーザー向けサイト）のユーザビリティやコンテンツを評価したランキング調査を毎年実施しており、今回で 4 回目の発表となります。当ランキングでは、「機能性・使いやすさ」と「商品・サービス情報の充実度」の 2 つの視点から構成される 158 の調査項目により当社のアナリストが評価を行い、総合的に優れた地方銀行サイトのランキングを決定しています。

「Gomez 地方銀行サイトランキング 2014」総合得点上位 10 サイトは、以下のようになりました。

順位	得点	銀行名	前回※
1 位	8.66	横浜銀行	1 位
2 位	8.30	千葉銀行	2 位
3 位	7.95	第四銀行	26 位
4 位	7.89	広島銀行	3 位
5 位	7.84	京葉銀行	7 位
6 位	7.60	北洋銀行	-
7 位	6.93	伊予銀行	15 位
8 位	6.90	福岡銀行	4 位
9 位	6.86	常陽銀行	8 位
10 位	6.82	近畿大阪銀行	6 位

※2013 年 9 月 5 日発表「Gomez 地方銀行サイトランキング」

【カテゴリ別ランキング】

■機能性・使いやすさ

順位	得点	銀行名
1位	8.67	横浜銀行
2位	8.41	千葉銀行
3位	7.94	北洋銀行
4位	7.93	第四銀行
5位	7.56	京葉銀行

■商品・サービス情報の充実度

順位	得点	銀行名
1位	8.65	横浜銀行
2位	8.26	広島銀行
3位	8.18	千葉銀行
4位	8.11	京葉銀行
5位	7.97	第四銀行

【上位サイトの特徴】

「Gomez 地方銀行サイトランキング 2014」の総合1位は、横浜銀行となりました。総合スコアは 8.66 点、機能性・使いやすさ・情報量・コンテンツの全評価において高い得点を獲得しています。トップページ、個別商品やサービス紹介ページの全てにおいて大きなメニューボタンを配置し、また視認性の高いイラストを活用することで直感的な操作が可能となり、ユーザーはスムーズに情報を得ることができます。各種金融商品の選択を手助けする外国為替、豊富なマーケット情報やマネーシュミレーションツールが用意され、コンテンツ面においても充実したサイトです。

総合第2位においても昨年と同様「千葉銀行」となりました。前回から一部リニューアルを経て引き続き上位にランクインしました。際立って評価が高かった項目は「コンテンツの使いやすさ」です。各種金融商品のページでは、Web サイトを表示したときに最初に見える範囲に商品のポイントや特徴などを簡潔に配置し、商品概要などの詳細情報はタブページで表現することで、縦長に陥りがちな商品紹介ページをコンパクトに纏めて見やすくなっています。また銀行の主力商品の1つである住宅ローンにおいては、トップページでユーザータイプ別の動線を配置し、更にシミュレーションにおいては返済、借入れ、借り換えに加え2つの金利に同時に対応するなど、様々なニーズに対応しています。

総合第3位は「第四銀行」となりました。ウェブサイトのフルリニューアルにより高い評価を獲得して前回 26 位から大きく順位を上げました。特に「機能性・使いやすさ」において高い評価を獲得しており、総合順位を押し上げています。ナビゲーションやメニューのデザイン・機能に対して例外的な規則を徹底的に排除しており、ユーザーは豊富な情報量に混乱することなく操作を継続することが可能なサイトです。

【全体的な傾向】

昨年度に続き、地方銀行におけるウェブサイトの改善の動きは活発です。前回の発表から今回の調査終了までの間、ログイン前の一般向けサイトをリニューアル（一部リニューアルも含む）した銀行は 22 サイトとなりました。今回ノミネートされた 64 行のうち、実に 34%もの地方銀行サイトがこの一年の間に何らかのリニューアルを行っており、ウェブサイトのユーザビリティに対する改善意欲の高さがうかがえます。

一方、スマートフォンに関しては今回ノミネートされた 64 サイトのうち 59 サイトがトップページを最適化しているものの、インターネットバンキングログインページ、店舗・ATM 検索や商品紹介ページなどの下層ページまで最適化されたサイトは7サイトのみでした。コンテンツ戦略においては Web のみならず、今後も急速な普及が予想されるスマートフォンやタブレット端末への対応も急務といえます。

【調査概要】

調査期間	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2014年8月25日～9月5日 ◆ ランキング結果は9月5日までの各社サイトに基づいています。
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域金融の中核を担う地方銀行と第二地銀（協会会員行）を予選調査の対象とします。 ◆ 上記を対象として予選調査を行い、そのうち一定水準以上のクオリティを持つ64サイトをランキングにノミネートし、スコアリングの対象とします。
調査範囲	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ログイン前の一般ユーザー向けプロモーションサイトを評価対象とします。 ◆ ログイン後のインターネットバンキングサービスは評価対象外となっています。

【評価方法】

本調査では、「機能性・使いやすさ」「商品・サービス情報の充実度」の2つの切り口から設定された158の調査項目に基づいてモーニングスターのアナリストが調査を行います。主な評価内容は以下のとおりです。

カテゴリ名称	評価内容
機能性・使いやすさ	ウェブサイトの使いやすさを評価するカテゴリです。(1) メニューとナビゲーション、(2) コンテンツの使いやすさ、(3) デザインとアクセシビリティ、(4) 安定性と信頼感、(5) 情報検索とユーティリティ機能などが評価のポイントとなります。
商品・サービス情報の充実度	ウェブサイトの情報量を評価するカテゴリです。(1) インターネットサービス情報、(2) 貯蓄性商品に関する情報、(3) 投資性商品に関する情報、(4) ローン商品に関する情報、(5) 会社・店舗・ATM情報などが評価のポイントとなります。

【本件に関するお問い合わせ】

モーニングスター株式会社 Gomez・コンサルティング事業部

電話：03-6430-2059 FAX：03-3436-5533 Eメール：gomez-info@morningstar.co.jp